

会員様同士の活発な情報交換のために、月に1回お届けしております！

++ CONTENTS ++

- 【1】青銀会理事リレーエッセイ 第7回 理事 岩谷 邦夫
- 【2】特別賛助・賛助会員様からのお知らせ
- 【3】大学発ベンチャー企業・支援機関からのお知らせ
- 【4】イベント・セミナー・助成金等のお知らせ
- 【5】編集後記

【1】青銀会理事リレーエッセイ 7回 寄稿:理事 岩谷 邦夫

青い銀杏の会会員の皆様、いつも大変お世話になっています。
本会の理事をさせていただいておりますクリングルファーマ株式会社の岩谷邦夫と申します。

私は5年前には北陸製薬という中堅の一部上場製薬企業の社長をしていました。それがひょんなきっかけでクリングルファーマを創業した中村先生、松本先生と出会い、その情熱に共感して4年余りにクリングルファーマの社長に就任しました。当時は珍しいこととして新聞にも取り上げられたり、馬鹿な奴もいるもんだと口さがない連中の酒の肴にもなったようですが、私にしてみれば特別なことをした思いもなくむしろ私本来の気持ちに素直に従ったまでの事と思っています。

昔は武田薬品でインドネシアとフランスの子会社を現地に作り、アメリカの子会社の立ち上げの時期にかかわり、北陸製薬時代にはアボットによる買収と100%の子会社化に向けての今流行のTOBに対応するなどベンチャーの誕生から消滅までを一気に経験したような人生を送ってきました。
そんな私にとってクリングルファーマはもっと世のため人のためになるような仕事をしたいという思いをぶつける最高の場でもあったのです。

クリングルファーマの経営を始めて4年余り本当に多くの出会いがあり、多くの人に助けられてここまで来れました。昔は海外で子会社を作る苦労はありましたが少なくとも資金を集めるような苦労はありませんでした。事業計画を示せば本社から必要資金は送られてくるのです。

しかしながら私はこの資金集めを通じて多くの有為なVCやベンチャーキャピタリストと知り合いました。世界がぐっと広がったのです。良いベンチャーを探し出して資金を出し育てる、と言う行為はすばらしいことです。その仕事を無心にやる人たちがいる、と言うことが私を大変勇気づけてくれました。日本のVCもベンチャー自体も未成熟だと言われています。しかしこのような人たちがいる限り少しずつではあっても世の中好転していくと思います。及ばずながら私もクリングルファーマを成功させることで恩返しをし、ベンチャーをやりたいという人たちが増えてくる事を期待しています。

私が初めて中村先生にお会いした時、先生は「ベンチャーには三つのPが必要だ。ひとつはパテント(特許)のP、次にパーソン(人材)のP、最後にパッション(情熱)のP。」と言われたのを思い出します。そしてパテントもパッションも持ち合わせているが最後のパーソンがいないのでぜひ来てほしいとも言われた。その言葉で私の今日が決まったのです。

Pで始まった私の最後の賭けですが、この4年余り私のもっぱら Positive な Personality で、先生との Promise はどこまで Perform 出来たでしょうか。先生あるいは株主の Patience にまだ余裕があるでしょうか。弊社の活動の Productivity は株主のVC様から認められているでしょうか。私の Pride と Passionにかけても持てるだけの Power を振り絞って予定通り Go Public ! と行きたいものです。

青い銀杏の会とクリングルファーマへのご支援、引続きよろしくお願い申し上げます。

岩谷邦夫
クリングルファーマ株式会社

+++++

【2】特別賛助・賛助会員様からのお知らせ

+++++

◎青い銀杏の会メールマガジン編集部では、特別賛助会員様からの情報をお待ちしております。
コメントやイベント・助成金のお知らせ等、メルマガを通してお知らせしたいことがございましたら下記連絡先までお寄せください。

会員同士の活発な情報交換のために、宜しくお願い致します。

◆メールマガジン連絡先: mailmz@osaka-u.com

+++++

=====

【3】大学発ベンチャー企業・支援機関からのお知らせ

=====

支援機関、ベンチャー企業皆様からのお知らせも随時募集しております。
メルマガを通してお知らせがございましたら下記連絡先までお寄せください。

会員同士の活発な情報交換のために、宜しくお願い致します。

◆メールマガジン連絡先: mailmz@osaka-u.com

=====

【4】イベント・セミナー・助成金等のお知らせ

▼△▼△

★平成19年度「ナノテク・先端部材実用化研究開発」(下期分)の公募

- 公募期間: 2007年7月27日頃～9月10日
- 助成対象: 民間企業、大学等
- 説明会: (1回目)2007年8月2日(木) 14:00～
大阪府(NEDO技術開発機構 関西支部)
- (2回目)2007年8月3日(金) 14:00～
東京都(NEDO技術開発機構 日比谷オフィス)
- 詳細: 下記URL参照
http://www.nedo.go.jp/informations/koubo/190628_4/190628_4.html

▼△▼△

★「エネルギー使用合理化技術戦略的開発」第2回公募開始

- 公募期間: 2007年7月20日(金)～2007年8月20日(木) 17:00まで
- 助成対象: 企業、独立行政法人、大学等の研究機関を有する法人
- 事業概要・詳細は下記URL参照

▼△▼△

★「次世代三次元積層技術開発の先導研究」に係る委託先公募について

■公募期間:2007年7月下旬～8月下旬(予定)

■公募詳細は下記URL参照

http://www.nedo.go.jp/informations/koubo/190622_1/190622_1.html

▼△▼△

★千里ライフサイエンス第100回記念セミナー

「細胞生物学・免疫学における日本発オリジナル研究—発見の発端と展開」

■会 期:2007年11月13日(火)10:00～17:00

■会 場:千里ライフサイエンスセンタービル5階ライフホール(大阪豊中)

■定 員:300名

■参加料:無料

■申込要領:氏名(ふりがな)、所属機関、部署、〒所在地、電話番号、
Eメールアドレスを明記の上、Eメールで下記宛お申し込み下さい。

申込先:Eメール sng@senri-life.or.jp

(財)千里ライフサイエンス振興財団 村上和久

〒560-0082大阪府豊中市新千里東町1-4-2

千里ライフサイエンスセンタービル8階

TEL 06-6873-2001 URL <http://www.senri-life.or.jp>

▼△▼△

★バイオビジネス創出研究会 第3回アグリビジネス-カフェ

「環境と漁業、林業について」の開催・参加者募集

■会 期:2007年8月3日(金)13:00～

■会 場:長浜勤労者総合福祉センター 臨湖(JR長浜駅から徒歩約7分)

■参加料:無料

■詳 細:<http://biobiz.jp/>

▼△▼△

★「中小企業のための地域金融の動向セミナー」開催

■会 期:2007年8月9日(木)14:00～16:30

■会 場:独立行政法人 中小企業基盤整備機構 1階セミナールーム

■定 員:100名

■参加料:無料(要事前申込)

■詳 細:<http://www.smrj.go.jp/keiei/tokutei/029678.html>

▼△▼△

★「平成19年度 中小企業総合展(東京会場)出展者」募集のご案内

■会 期:2007年10月31日(水)～11月2日(金)10:00～17:00

■会 場:東京ビッグサイト 東5・6ホール

■申込締切:(郵送申込)2007年8月1日(水)消印有効
(メール申込)2007年8月1日(水)24:00まで

■詳 細:<http://sougouten.smrj.go.jp/boshu/index.html>

▼△▼△

★科学技術振興機構(JST)より各種ご案内

【8月24日】『広島大学 新技術説明会』大阪にて開催！

<http://jstshingi.jp/hiroshima/>

【今週末！】『バイオ・医療 新技術説明会』開催！

<http://jstshingi.jp/jst/070720/>

【7月27日】『キャンパス・イノベーションセンター東京 新技術説明会』開催

<http://jstshingi.jp/cic-tokyo/>

【8月3日】『信州大学 新技術説明会』開催！

<http://jstshingi.jp/shinshu/>
新技術説明会 開催予定
<http://jstshingi.jp/>
募集案内 <http://www.jst.go.jp/bosyu.html>

新技術説明会やe-seeds.jpで、良いシーズと出会っていただき、応募をご検討ください！！

<募集中の産学連携関連公募事業>

- 独創的シーズ展開事業「委託開発」(第2次:7月31日まで)
<http://www.jst.go.jp/itaku/>
- 産学共同シーズイノベーション化事業「顕在化ステージ」(8月6日まで)
<http://www.jst.go.jp/innovate/innov/>
- 特許出願支援制度(随時)
<http://www.jst.go.jp/tt/pat/>
- 特許権保護支援(随時)
<http://www.jst.go.jp/tt/enfo/>
- 良いシーズをつなぐ知の連携システム<つなぐしくみ>(随時)
<http://www.jst.go.jp/tt/tsunagu/>

▼△▼△

★日本知財学会産学連携・ベンチャー分科会

日時:2007年7月25日(水) 18:30～
会場:慶應義塾大学三田キャンパス
主催:日本知財学会産学連携・ベンチャー分科会
参加費:学会員500円 非学会員1,000円(資料・連絡代として)

お問合せ先:
E-MAIL:sahara@braina.com
URL:http://www.ipaj.org/bunka/bunka2_01.html

▼△▼△

★ナノフォトニクス総合的展開シンポジウム

日時:2007年7月25日(水) 13:00～
会場:東京大学武田先端知ビル
主催:東京大学大学院工学系研究科
(独)NEDO技術開発機構
定員:250名
参加費:無料

お問合せ先:
「ナノフォトニクス総合的展開シンポジウム2007」事務局
E-MAIL:symposium2007@nanophotonics.t.u-tokyo.ac.jp
URL:
<http://uuu.t.u-tokyo.ac.jp/jpn/nedo/symposium/pro.html>

▼△▼△

★「平成19年度における通信・放送新規事業助成金に係る
助成対象事業の第2回公募」開始について
<http://www2.nict.go.jp/v/v412/103/index19-2.html>
【(独)情報通信研究機構】

スタートアップ段階の情報通信分野のベンチャー企業等に対し、通信・放送事業分野における新規事業の創出を促進するため、事業実施に必要なコンサルティング経費、試作開発費、特許申請費用などの手続き諸経費の一部を助成するものです。

■公募期間(申請書受付期間)

平成19年7月17日(火)～平成19年8月21日(火)
※上記スケジュールはやむを得ない理由により変更することがあります。

■公募説明会:平成19年7月20日(金)14時から15時まで

情報通信研究機構麹町会議室

東京都千代田区麹町5-4 KY麹町ビル4F

説明会の詳細はこちらのURLをコピーペーストしてご覧ください↓

http://www.venture.nict.go.jp/contents/index.php/venture/nict_2/node_12675/2/node_12679

■応募方法: 詳細はこちらをご覧ください↓

<http://www2.nict.go.jp/v/v412/103/index19-2.html>

■お問い合わせ先

情報通信振興部門革新事業グループ

Tel: 042-327-6021

Mail: kakushin@ml.nict.go.jp



★「地域資源活用新事業展開支援事業費補助金

(地域資源活用販路開拓等支援事業)の公募(第2次募集)」について

http://www.chusho.meti.go.jp/shogyo/chiiki/070712_hanrohozyo.htm

【中小企業庁】

本事業は、地域経済の活性化及び地域中小企業の振興のため、地域資源を活用した商品・役務の改良や販路開拓に意欲的に取り組む中小企業等を支援するものです。

■公募期間: 平成19年7月23日～平成19年8月15日(17時必着)

■事業概要: 地域に特色のある産業資源(農林水産物又は鉱工業品、鉱工業品の生産に係る技術、文化財、観光資源等)を活用した商品又は役務の販路開拓を目的として補助対象者が行う市場調査、商品又は役務の改良(研究開発、試作、評価等を含む)、展示会等の開催又は展示会出展等の顧客獲得に係る事業の経費について補助します。

■補助率: 補助対象経費の1/2以内

■詳細については、こちらをご覧ください↓

http://www.chusho.meti.go.jp/shogyo/chiiki/070712_hanrohozyo.htm

■お問い合わせ先

近畿経済産業局 産業部 創業・経営支援課

〒540-8535 大阪府中央区大手前1-5-44

大阪合同庁舎1号館

TEL: 06-6966-6014



★「地域資源活用新事業展開支援事業費補助金

環境産業等産学公研究開発支援事業」について

<http://www.ki21.jp/information/sangakukou/index.htm>

【(財)京都産業21】

財団法人京都産業21では、産学公の連携による新産業創出など、地域産業の活性化を図る支援を積極的に推進しています。

本事業は、京都府の補助金を財源として、産学公の強固な連携により高度な研究開発等を推進するグループに資金支援等を行うことで、研究成果の実用化・産業化がより早期に達成され、京都経済の次代を担う新産業・新事業を創出することにより、地域経済の活性化を図ることを目的としています。

■公募期間

平成19年7月4日(水)～平成19年8月6日(月) 午後5時必着

■応募資格

京都府内に本社を置く中小企業の代表企業と大学等研究機関が構成メンバーに入っている産学公連携研究開発グループの代表企業が応募できます。

詳細→<http://www.ki21.jp/information/sangakukou/index.htm>

■公募する研究開発分野及び事業対象範囲

今回公募する研究開発分野は、社会的ニーズに対応する技術課題への重点的な取組みを促進し、技術開発成果を実用化して社会に普及するため、地球環境問題への貢献等、京都府の政策目的の達成に繋がる研究開発を支援し、併せて次代の京都経済の発展を担う技術革新に立脚した新産業創成を図るものとします。(ただし、いずれも中小企業による事業化が期待できる産学公連携に係る研究開発であることが必要)

■研究開発費の規模

資金支援する総額は研究開発経費のうち、支援対象経費の1/2以内で、上限は1連携グループ当たり2年間で3,000万円以内とします。(採択初年度の上限は1,500万円)

■研究開発期間

平成19年度から2年度以内

なお、今年度末に実施される研究開発の進捗状況の評価により、継続することが望ましいと判断されるものに限り、次年度の資金支援を行います。

■公募要領ほか、詳細はこちらをご覧ください↓

<http://www.ki21.jp/information/sangakukou/index.htm>

■お問い合わせ先

財団法人京都産業21 連携推進部 産学公・ベンチャー支援グループ

TEL:075-315-9425 FAX:075-314-4720

E-mail:sangaku@ki21.jp

▼△▼△

★「中小企業のための「M&A活用セミナー」」のご案内

<http://www.smrj.go.jp/kikou/branch/kinki/029433.html>

【(独)中小企業基盤整備機構】

近年、後継者難等に端を発し、中小企業の事業承継のためにM&Aを活用しようという動きが活発化しつつあり、こうした動きは、事業再生や事業拡大、さらには大学発ベンチャー企業等の出口戦略等としても注目されつつあります。当セミナーは、数多くの中小企業のM&Aの仲介経験を持つ(株)日本M&Aセンターの三宅副社長による基調講演により、M&Aの現状について類型別に整理し、その活用方法等の知見、ノウハウを提供するとともに、M&Aを事業拡大に活かす企業経営者やM&Aを支援する専門家によるパネルディスカッションを通じ、M&Aの多様な事例等をわかりやすくご紹介いたします。また、M&Aに関連して、中小企業の事業承継の円滑化に対する中小機構の取組みについてもご案内いたします。

■日時:平成19年7月27日(金) 14時から17時

■場所:中小機構近畿支部 経営支援プラザUMEDA
(大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル19階)

■定員:100名(先着順。受付できなかった方にのみ
ご連絡させていただきます。)

■受講料:無料

■プログラムやお申し込み方法等、詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.smrj.go.jp/kikou/branch/kinki/029433.html>

■お問合せ先

独立行政法人中小企業基盤整備機構 近畿支部

中小企業・ベンチャー総合支援センター(担当:石田)

大阪市中央区大手前1-7-31

大阪マーチャンダイズ・マートビル(OMMビル)11F

TEL:06-6910-3866 FAX:06-6910-3867

▼△▼△

～編集後記～

最高気温が30度を超える日も見られ、本格的な夏日がやってきたと感じさせられます。もうすぐ夏休みになるわけですが、人生のうちでこんなに長い休暇が取れる機会はこれから先ほとんど無いかと思えます。
「今しかできないこと」を念頭に充実した時が過ごせれば、と思う今日の頃です…。

(青柳)

□ 発行責任者:青い銀杏の会 <http://www.osaka-u.com/>

■ 編集:青い銀杏の会 学生会会Az <http://www.osaka-u.com/gakusei-az/>

□ メールマガジン連絡先:mailmz@osaka-u.com

■ このメールマガジンの、お知り合いへの紹介や転送は自由です。

□ Copyright (c) 2007 青い銀杏の会. All rights reserved.

— ☆☆☆ —

特定非営利活動法人

青い銀杏の会 事務局
〒565-0871 吹田市山田丘2-1
国立大学法人大阪大学
先端科学イノベーションセンター A-307
<http://www.osaka-u.com/>
TEL:06-6816-9327 FAX:06-6816-9326
E-mail:info@osaka-u.com

— ☆☆☆—————